



令和3年3月10日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校

文責：校長 柿林 浩彦

第35号

うみやまさミット

～三次市立三和中学校との交流～

3月5日（金）、1年生は総合的な学習の時間において、「うみやまさミット」を行いました。この「うみやまさミット」とは、三次市立三和（みわ）中学校との交流授業のことです。一昨年は蒲刈中学校の生徒が三和中学校を訪問し交流したり、昨年度は三和中学校の生徒が蒲刈を訪問し一緒に藻塩づくりなどを体験したりしています。今年度は新型コロナウイルス感染症のため、直接の交流はできませんでしたが、リモートで行うこととしました。

互いに1年生は地域学習をしているため、その発表を行いました。また、地元に関する特産品を送り合って食べることもできました。蒲刈中学校からは「大長レモンでつくったはちみつレモン」と「しらぬい」を、三和中学校からは三和町特産の「やきごめ」を送りました。両校とも自慢のふるさとについて発表するとともに、お腹も満たすことができ大変充実したミットをすることができました。また、リモートでの活動の可能性を改めて感じたミットでした。なお、6日（土）の中国新聞に紹介されていますので、ぜひご覧ください。



きじりん誕生

～ストラップも作りました～



蒲刈中学校の新しいマスコットキャラクター「きじりん」が令和2年12月に誕生しました。下蒲刈中学校と蒲刈中学校が統合したことで、新キャラクターとともに蒲刈中学校をより一層盛り上げていきたいという思いから、生徒会執行部6名（小寺塑良くん、村上はるなさん、原田知佳くん、岡本結愛さん、渡邊明花さん、小寺飛翔くん）が中心となって作成しました。生徒・先生から新キャラクターを募集し、10月30日（金）文化発表会での投票、その後、生徒会執行部が選考委員会を開催した結果、花浦陽乃さんがデザインした「きじ」が蒲刈中学校の新キャラクターに決定しました。

教室の窓から見える畑から「きじ」の鳴き声を聞いたり、目撃したりしています。キャラクターでは、蒲刈中学校らしさを表現するために制服を着てテニスラケットを背負い、名前も「かまりん」や「しもりん」と同じように語尾に「りん」をつけて仲間らしさを表しました。新執行部5名（丸山寧々さん、小寺飛翔くん、沖原心実さん、小寺墨偉くん、兼田渚彩さん）が取組を引き継ぎ、今年はストラップを作成し、3年生を送る会で生徒と先生の全員に渡しました。統合の記念となるストラップは宝物になりそうです。



お知らせ



文部科学省は、新型コロナウイルス感染症について長期的な対応が見込まれることから、「新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のためのガイドライン」の改訂を行いました。

これに伴い呉市教育委員会は、呉市立学校における新型コロナウイルス感染症対策における欠席等の扱いを改訂し、感染の不安を理由に登校しないケースについて、「出席停止・忌引き等の日数として扱う範囲」を明確に示されました。

今回の改訂では、単に児童生徒への感染が不安だという理由での欠席が特別欠席として認められるのは、原則、感染状況がレベル2以上のときとなりました。（現在、広島県はレベル1です。）

引き続き、身体的な距離の確保、マスクの着用、手洗い、毎日の健康観察などの感染対策をより一層徹底して参りますので、ご協力をお願いします。なお、ご質問などございましたら学校へご連絡ください。保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。